

きご協力をお願い申し上げます。焼却ごみについては、小川地区衛生組合で行っております。現在の焼却施設は、老朽化が激しく、今後の対応については、長年の懸案でありました。平成25年度において、埼玉中部広域清掃協議会に加わり、広域的な焼却施設対策について協議してまいります。

嵐山渓谷周辺地は、これまでも積極的に保全と活用してまいりました。本地域は町名発祥の地であり、嵐山町の貴重な財産です。これからも、この「武蔵嵐山」を保全し、より活用するよう対策を講じてまいります。



市町村設置型合併浄化槽整備事業

歴史・文化のかがり高く
子ども笑顔あふれるまち

こども医療費の窓口払いの廃止に伴う経費を他の子育て支援に活用する事業として、保育料の引き下げ、ロタウイルス、おたふくかぜ、水痘及び中学3年生へのイン

び町道吉田326号線整備工事等行ってまいります。

平沢土地区画整理事業及び東原土地区画整理事業に対しては、引き続き支援を行ってまいります。

マスコットキャラクター「むさし嵐丸」は多くの方から好評価を頂いており、むさし嵐丸のナンバープレートを作成することといたしました。

今後まちづくりのため多くの方や企業等に利用して頂けるよう、PRしてまいります。

多くの方が何度も嵐山町を訪れて頂くため、観光地誘導看板の設置を行いました。自然豊かな嵐山町は、嵐山渓谷、都幾川桜堤、杉山城跡、菅谷館跡、蝶の里公園など数多くの資源に恵まれております。今後も地域資源を有効に活用するよう尽力してまいります。

中心市街地活性化推進委員会でご検討頂いております菅谷地区の買い物難民対策につきましては、調査費を計上し、持続可能な方法とするため、支援してまいります。

農業においては、嵐山南部土地改良区及び嵐山中部土地改良区に土地改良施設維持管理適正化事業補助金により、優良農地の保全を支援しております。農業を取り巻く環境は大変厳しく、後継者対策等課題解消の光がなかなか見えないうなかではありますが、関係機関と連携を取りながら引き続き農業関係者へ支援を行ってまいります。

フルエンザの予防接種への助成を行いました。小学生に年額1万円、中学生に年額2万円を学年費個人負担分として助成しております。引き続き本事業を行い、財源の有効活用により特色ある子育て施策を行ってまいります。

菅谷小学校及び志賀小学校体育館の耐震補強工事を行い、嵐山町の全ての教育施設は耐震化が終了いたしました。当初計画では、平成27年度までに耐震化を全て完了する予定となっておりましたが、3年前倒しで終了したこととなります。

菅谷中学校体育館整備に続き、菅谷中学校内の舗装及び駐輪場の整備を行ってまいります。玉ノ岡中学校においては、プールの過装の修繕を行うなど、今後も計画的に幼稚園、小中学校の環境整備を図ってまいります。

子育て広場事業も利用者が増加しております。今後も、身近な場所において、親子であれあう場を提供してまいります。

フィットネス21パークにおいては、安心して遊べるよう、老朽化した遊具を更新してまいります。

昨今改めて待機児童の解消が問題化されています。今後も引き続き、子どもが健やかに生まれ育つための環境整備を進めてまいります。

国指定史跡となり、町の貴重な地域資源である杉山城跡は、杉山



防災訓練の様子

計画の実現に向けて

平成25年度予算は財源不足の解消を約2億円の基金の繰り入れで補う厳しい予算編成となりました。しかしながら、持続可能な財政運営を行うため、様々な施策を行ってまいります。

まず、起債額を減少することに より4年ぶりにプライマリーバランスを守ることとなりました。

住民基本台帳システムや課税システムなど、町の基幹的なシステムについては、埼玉県町村会によるクラウド化に参加し、一時的に導入経費はかかりますが、経常経費として年間約6百万円の削減効果が出ることとなります。

人件費においても、定員適正化により、約4千6百万円減少することとなりました。

城保存管理計画に基づき国の補助金を活用し、公有地化を図ってまいります。この地域資源を活用し、さらなる町の活性化を図ってまいります。



杉山城跡

町のスポーツ施設の中心的役割を担ってきたB&G海洋センター体育館及びプールは、老朽化に伴い、B&G財団の助成を受け、修繕工事を実施してまいります。より多くの方がスポーツに親しみ、健康で生き生きと生活できる基盤整備を進めてまいります。

ふれあい交流センターにおいては、引き続き、町民の方々に交流の場を提供し、住民主体のまちづくりのために活用していただくとともに、生涯学習環境の充実を図ってまいります。

安全・安心で活力に満ち、快適に暮らせるまち

安倍政権は経済の再生に積極的に取り組むとしています。町ではこれまでも、地域経済の活性化に

町を取り巻く状況は、日々変化しています。数年前までは、常識のように叫ばれたものが、すぐに見直される例は枚挙にいとまがありません。

しかしながら、以前から変わらないものがあります。それは、地域の力がまちづくりの基本であるということとです。私は、町民の皆様をはじめとする様々な方々の協力による「地域経営」のまちづくりを掲げ、様々な施策を行ってまいりました。協働とは、様々な方々との「つながり」です。つながることにより、個々では小さな力でも大きな力となるのです。それは、残念ながら復興がなかなか進まない東日本大震災で、私達が経験したことではないでしょうか。

昨年、日本に希望をもたらす大きなニュースがありました。iPS細胞（人工多能性幹細胞）という夢のような細胞の樹立に世界で初めて成功した、京都大学の山中伸弥教授が、ノーベル生理学・医学賞を受賞されたのです。山中教授はアメリカ留学中、恩師である現グラッドストーン研究所ロバート・メーリー名誉所長にこんなことを言われたそうです。

「科学者の成功の秘訣はVとWだ。」

VはビジョンのVです。WはワーカーのWです。つまり、科学者が成功するためには長期の目標（Vi

積極的に取組んでまいりました。平成25年度は水道料金の値下げを行うなど、町民の皆様や企業の負担を軽減する経済対策を行ってまいります。

住宅用火災警報器の設置率は、比企地域が他の地域と比較し、低くなっているとのことでありました。町民の皆様への命を火災から守るため、住宅用火災警報器購入補助及び設置委託を実施しました。区長の皆様を始め多くの町民の方々の協力により、設置率が51.4%から85.7%にまで上昇いたしました。郡内では勿論1位、県内でも戸田市に次いで2位となりました。

また、嵐山消防団第1分団第2部の消防ポンプ車を更新し、地域の消防防災のため、消防団の強化を行ってまいります。

さらに、2トンの給水車を購入し、災害時等に対応してまいります。

嵐山町地域防災計画に基づき、今後も引き続き計画的に防災対策を行ってまいります。

防犯対策につきましては、町民の皆様のご協力により、自主パトロール組織が活発に活動して頂いております。引き続き支援を行ってまいります。

これまで、通学路や生活道路等の整備を、国の補助金を活用し積極的に進めてまいりました。將軍沢地内の町道2-26号用地買収及

これは、科学者だけでなく、私達にも当てはまることではないでしょうか。

昨年9月から、嵐山町の運営を新たに4年間任せて頂くことになりました。私も、町民福祉の向上という目標に向かい、がむしゃらに、誠心誠意まちづくりを行っていく所存であります。

町民の皆様をはじめ関係する全ての方々におきましても、例え小さくても、まちづくりの目標を持ち、がむしゃらでなくても、少しずつ歩んで頂ければと思います。それが、大きな力となります。そして共に力を合わせ、住んでよかったといえる嵐山町をつくらせていこうではありませんか。

今後も嵐山町の発展のため、議員の皆様並びに町民の皆様には、引き続き特段のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

(紙面の都合で一部割愛していただきます。全文はホームページをご覧ください。)



嵐山町マスコットキャラクター
むさし嵐丸